

板橋区景観計画に基づく景観形成重点地区

がい せん じく
板橋崖線軸地区の
取組みについて

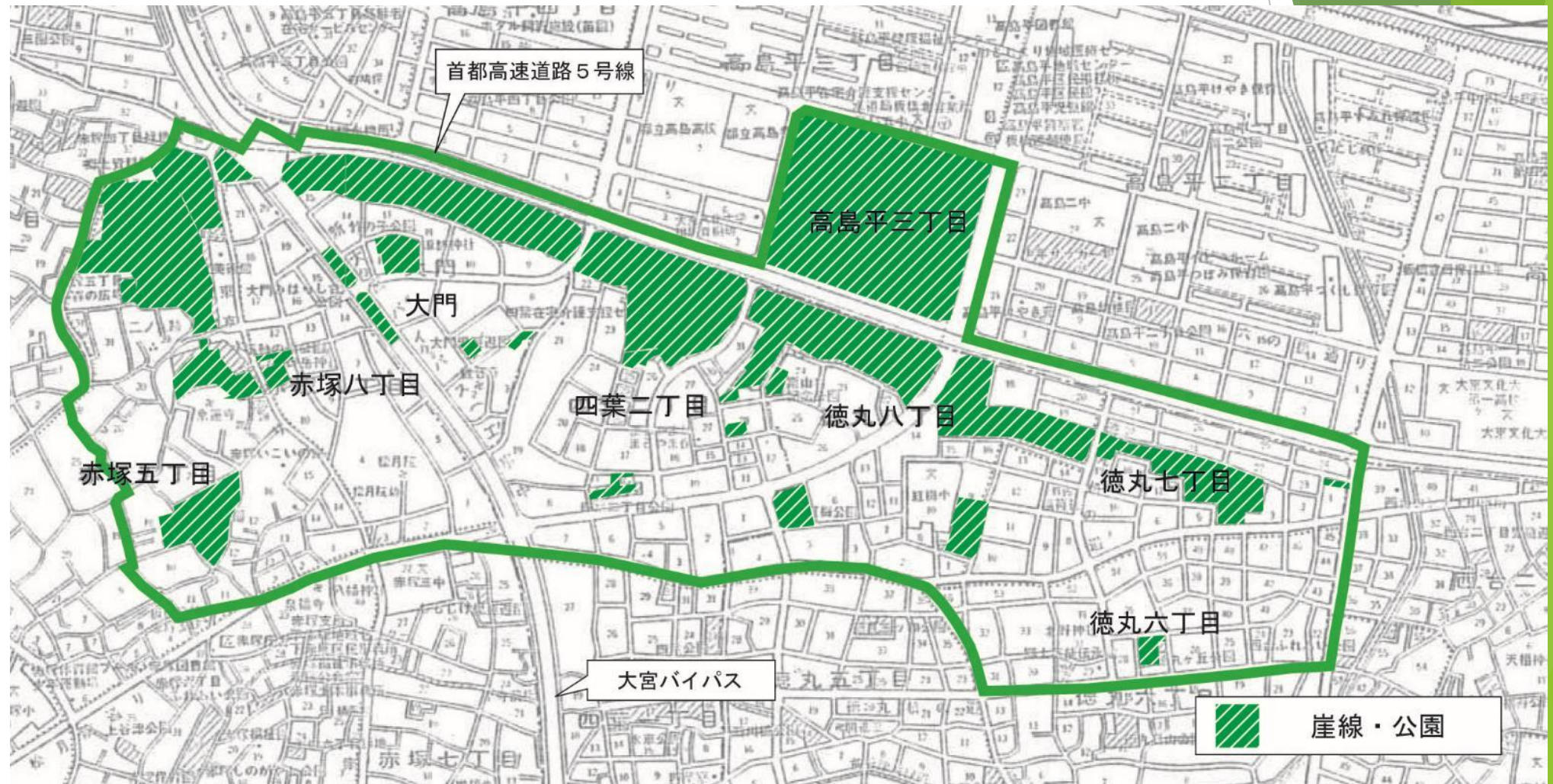


板橋区景観計画の対象区域

- 景観計画の対象区域は、**板橋区全域**としています。
- さらに、「**一般地域**」と「**景観形成重点地区**」に区分しています。
- 現在、5地区（①板橋崖線軸地区、②石神井川軸地区、③加賀一・二丁目地区、④常盤台一丁目・二丁目地区、⑤板橋宿不動通り地区）が景観形成重点地区に指定されています。
- 赤塚四・五丁目地区を景観形成重点地区へ追加することについて、この勉強会で検討していきます。



板橋崖線軸地区の範囲



板橋崖線軸地区の景観形成の方針

- **崖線の眺望、崖線からの見晴らしを守り、活かした景観の形成**
 - ▶ 崖線の眺望を守るため、建築物や屋外広告物などの高さや緑と調和した色彩に配慮した景観づくりを進める。
 - ▶ 坂道・高低差といった地形を守り、過去から受け継がれた眺望・見晴らしを保全する。
- **四季の彩りを活かし、崖線の緑と調和・連続した景観の形成**
 - ▶ 家の周りなど、身近なところから緑を育て、崖線の緑と一体となった緑の回廊を形成する。
- **水と緑のうるおいのある景観の形成**
 - ▶ 貴重な湧水と崖線の緑のうるおいのある景観を守り、活かした景観づくりを進める。
- **歴史的・文化的自然を活かした、風情のある景観の形成**
 - ▶ 赤塚城址や松月院などの歴史文化的資源周辺では、これらの景観資源の保全と歴史・文化的資源との調和に配慮した景観づくりを進める。

板橋崖線軸地区における景観形成の考え方

崖線の眺望、崖線からの見晴らしを守るための
景観形成の規制・誘導

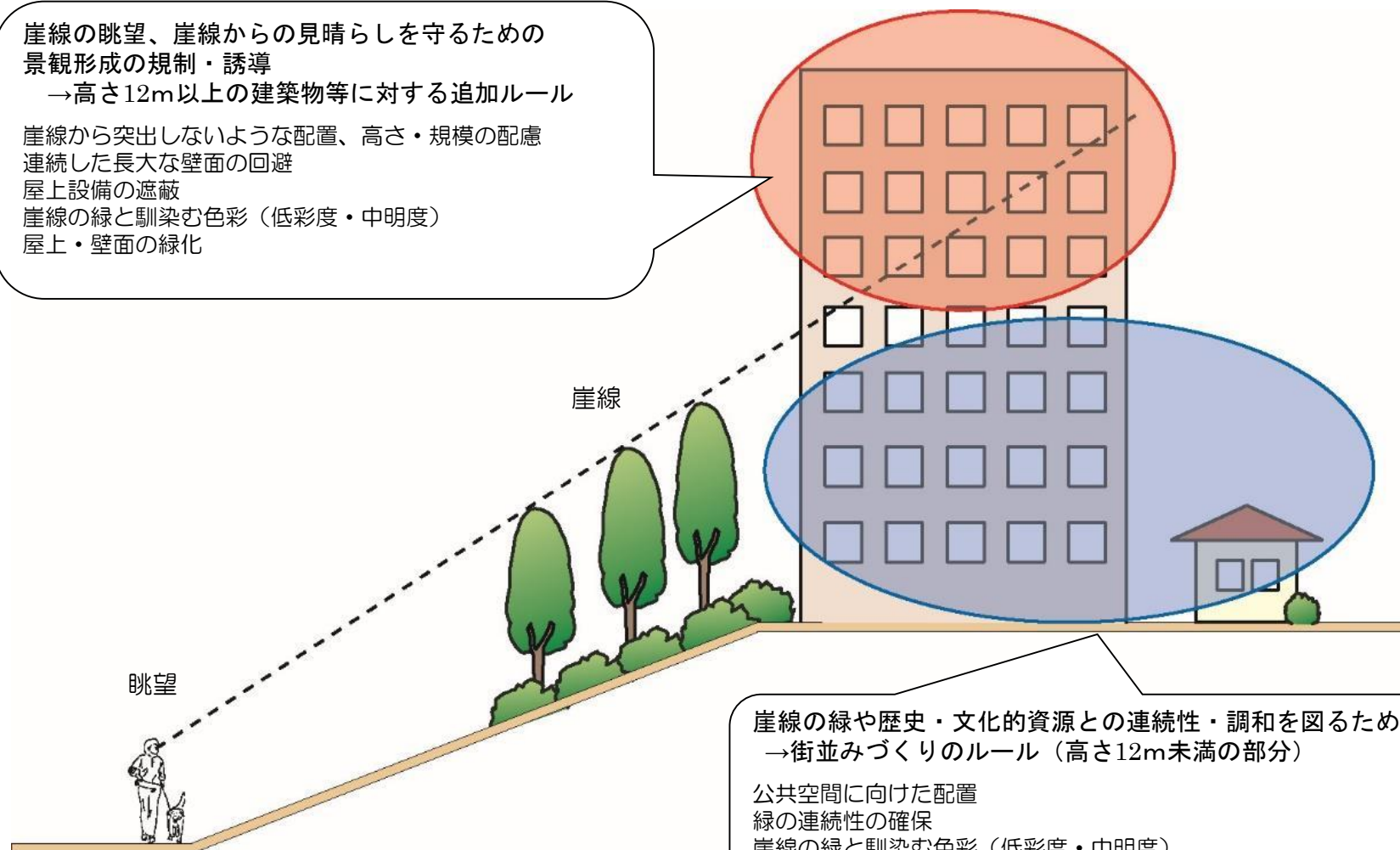
→高さ12m以上の建築物等に対する追加ルール

崖線から突出しないような配置、高さ・規模の配慮
連続した長大な壁面の回避

屋上設備の遮蔽

崖線の緑と馴染む色彩（低彩度・中明度）

屋上・壁面の緑化



崖線の緑や歴史・文化的資源との連続性・調和を図るための景観形成の規制・誘導
→街並みづくりのルール（高さ12m未満の部分）

公共空間に向けた配置

緑の連続性の確保

崖線の緑と馴染む色彩（低彩度・中明度）

板橋崖線軸地区での 推奨する色彩のイメージ

景観形成のイメージ — 周辺景観との対比が強い例



景観形成のイメージ — 改善例



住宅地

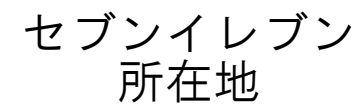
景観形成のイメージ — 周辺景観との対比が強い例



景観形成のイメージ — 改善例



主要幹線道路沿い



事例：宅地分譲



➡沿道緑化、外壁や床材の素材感の工夫等により、単調な街並みとなることを避けている。

